

学べ 遊べ 歌え

高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成
酒田市立平田小学校だより 平成28年10月28日発行
第40号

“天高く馬肥ゆる秋” たけなわです

～天は頭・馬はころにおきかえたい～

10月22日の「学習発表会」では、本当にたくさんの皆さんにおいでいただきありがとうございます。当然、発表は見てもらってこそ価値があります。講評でもお話しましたが、これまでがんばってきた発表をたった1回見て終わっては実にもったいないということで、私は前日前々日の最終練習も見せてもらいました。やっぱり、本番は子どもたちの様子を見ると表情がまっ



6年合奏「ありがとう」



5年踊り「ヨサコイ」

たく違いました。もちろん緊張もあるでしょう。でも、その緊張も何から来ているかといえば「集中」だと思います。「みんなが思いを一つにして集中する体験」が発表会であったと私は見ています。こんな思いはたくさんの人から見てもらわないとできません。発表が終わってステージから自分の席に帰っていくときの子どもたちの何とも言えない充実感に満ちたような表情が忘れられません。次は、11月23日の「希望ステージ発表会」へもぜひ足を運んでいただければありがたいです。各学年の発表の様子は

学級だよりで紹介されていると思いますのでそちらに譲ります。…ちょっとさかのぼって13日の日には「授業参観・PTA研修会」がありました。特に研修会は年一回の貴重な機会。後藤敬子先生から「いのち」のお話をお聞きしました。第6次山形県教育振興計画のテーマは「つなぐ ～いのち、学び、地域～」です。まさにそれにも合致するようなお話をお聞きすることができました。そして、子育てのヒントをたくさんいただきました。終わったあとは体育館にあったかい空気が流れていたように感じたのは私だけではなかつたと思います。



後藤敬子先生



じつは9月7日の校長講話のときに、「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」という絵本を読み聞かせしたあとに「いのちのつながり」についてお話をしました。（内容的には1・2年生は難しかったと思いますが。）過去の遠い遠い先祖の中のだれか一人でもいなかったら自分は存在しなかった。しかも、その人数たるや1世代25年として20代前（500年ぐらい前の戦国時代）までさかのぼると約200万人、30代前（鎌倉時代ぐらい）となると約20億人もの人たちのつながりの先頭が自分になるということなのです。その話を5・6年生の子ども達が思い出してくれたかどうかは分かりませんが、「いのちはつながりのなかにある」ことはしっかりと感じてくれたと思っています。…最後に、この度保護者の皆様には、酒田市教育委員からの「平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）」を配らせていただきました。新聞・ニュースの報道でもご存知かと思いますが、山形県としては上向き傾向にあり、取り組み（探求型学習等）の効果が上がっているという分析をしていました。昨年度同様、この学校便りで本校の様子をお伝えします。

「平成28年度全国学力・学習状況調査」平田小学校では…？

市教育委員会の文書とも重なりますが、改めて確認させていただきます。

4月19日、文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として実施されました。内容は①国語、算数の教科に関する調査（知識に関するA問題と活用に関するB問題）と②学習環境などに関する調査の2つです。全国や県の調査結果につきましてはすでに報道などで公表されております。また、酒田市の状況につきましても、保護者宛に配布したとおりです。ここでは、本校の状況と対策についてお知らせいたします。

1 教科に関する調査について

○国語Aは全国、県平均を上回っています。

▲国語B、算数A、算数Bは、全国、県平均を下回っています。

2 学習状況に関する調査

1) 家庭生活に関わることについて

○読書への興味は全国平均を大きく上回っています。

▲テレビゲーム等の時間（2時間以上）の比率は全国・県に比べて高いです。

2) 児童自身に関わることについて

○自尊心、思いやりや地域とのつながり、挑戦する気持ち、規範意識は数値が高いです。

▲将来の夢・目標についての意識は全国平均を下回っています。

4月のPTA総会でもお話しましたが、本校では課題解決のための具体的な方策として次のような取り組みをしています。（昨年度から継続していることももちろんあります。）

<課題をもとに取り組んでいること>

☆学校研究で算数B問題を理解し職員の意識を高めています。

実際職員で算数のB問題をつくってみたり、B問題を知るために研修会を実施たりしています。

☆「パワータイム」に計画的に取り組んでいます。

PTA総会での配布資料のとおり、各学年貴重な時間として集中して取り組んでいます。各回にどんな問題に取り組んだのかを記録して、次年度に向けて尚いっそう充実させていきたいです。

☆朝活動「ドリルタイム」は全職員で対応しています。

毎週木曜日の朝活動「ドリルタイム」では、学級外の職員も入って指導に当たっています。場合によっては、空き教室を使ってグループを分けて指導することもあります。

☆将来の夢や目標への関心を高めています。

上記の結果は数値は低いものでした。この調査は6年生限定の4月段階の結果です。その後、これまでお知らせしてきたように、6月には佐藤真生先生と「夢傘福」を作りながら「夢」に触れ、総合的な学習では「15歳のハローワーク」で将来の夢や目標を深く考えてきました。6年生は着実に成長してきているに違いありません。



当然、これらは取り立てて焦点化し限定しての4つのことに過ぎません。数字だけで子どもの全てを判断するのではなく、子どもの心も含めた全体の成長に力を注いでいきたいと考えております。取り組みは日々の学校生活、具体的に言えば日々の授業です。

そして、学校がめざすことは子どもたちの「人格の完成」です。学校だけではこの「人格の完成」は困難です。ご家庭にお願いしたいことについては、今後も機会を捉えながらお伝えしたいと考えております

ので、どうか今後ともよろしく願いいたします。